

黒田原小学校 地域とともに学ぶ活動 が評価されました

12月3日、「地域学校協働活動」推進に係る文部科学大臣表彰式が行われ、黒田原小学校支援委員会が受章しました。

黒田原小学校では、木村寛学校運営協議会会長をはじめ、地域教育コーディネーターの深沢知光さん（旗鉾）、薄葉智子さん（下川）が中心となって学校と地域の絆をつなぐ支援活動を行っています。活動を始めたのは平成26年で、認知度が低かったため、思うようにならないこともあったとのことですが、今では地域全体で未来を担う児童たちの成長を支える活動は他の模範と認められ、今回の受章となりました。



左から教育長、深沢知光さん、薄葉智子さん、黒田原小学校増淵尚校長、木村寛学校運営協議会長（12/17 教育長室）

藤田めぐみさん ハンデ を乗り越えボランティア として学校支援に協力

10月11日、学校教育支援ボランティア感謝状贈呈式が行われ、宇田貞夫県教育長から藤田めぐみさん（綱子）に感謝状が贈られました。

藤田さんは母校の旧朝日小学校で高齢者福祉に関する学習の講師を務めたことがきっかけで、以来15年以上、ボランティアで学習支援活動に携わっています。

10年前に両目の視力を失った後も、障がい福祉の学習支援、ケアマネージャーの資格取得、あん摩師になるための勉強等に意欲的に取り組んでいます。ハンデを乗り越え次々とキャリアアップを目指す姿は、児童たちに夢と希望を与えています。



学校支援活動を振り返り「街中で子どもたちから声をかけられるのを楽しみにしています」と笑顔で語ってくれました。（11/17 教育長室）

笑顔と元気を届けます！介護予防サポーターが活躍

11月19日、「第7回健康寿命をのぼそう！アワード」の表彰式が開催され、健康寿命の延伸に資する優れた取組みを行ったとして、介護予防サポーターが厚生労働省老健局長優良賞を受賞しました。

介護予防サポーターは、養成講座を受講し、高齢者の健康体操や脳トレなどの介護予防のお手伝いをボランティアで行っています。

心身力アップ継続教室サポーター、すまいるサポーターそれぞれが迎えてくれる通いの場は「なじみの顔による安心感」「また来たいなる楽しい場」となり、あたたかな雰囲気と笑顔に包まれています。

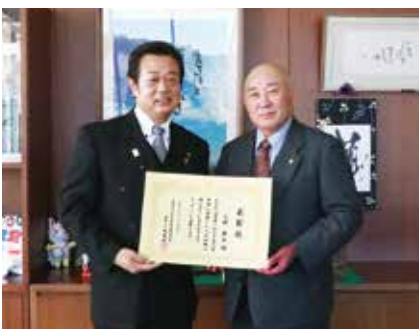


介護予防サポーターの皆さん（12/17 特別会議室）

土田陽吉さん 明るい社会のため 青少年の健全育成に貢献

11月27日、平成30年度青少年指導者等顕彰・青少年指導者等奨励賞表彰式が行われ、土田陽吉さん（千振）が全国青少年育成県民会議連合会青少年指導者等顕彰を受賞しました。

青少年の健全育成のために顕著な活動をした方に授与されるもので、土田さんは平成16年から栃木県青少年育成指導員として活躍しています。



（12/17 町長室）